

令和6年度事業報告書

I. 事業の概要

1. 保健管理研究集会事業

(1) 全国研究集会開催事業

全国大学保健管理研究集会は、全国の国・公・私立大学における保健管理の研究者及び実務担当者等が一堂に会し、各大学で取り組んでいる保健管理に関する種々の課題につき、その調査・研究成果を発表・討論すると共に、有識者から各種傷病や健康管理基盤等に関する時宜を得た講演を受講し、シンポジウムにおいて議論に参加することで、大学における学生・教職員等の保健管理の一層の充実、公衆衛生の向上ならびに学術研究の発展に寄与するために開催している。

令和6年度の第62回全国大学保健管理研究集会は、文部科学省後援の下、当番校の国立大学法人神戸大学と当協会の共催で令和6年10月16日（水）・17日（木）の二日間に亘り神戸国際会議場で開催した。

会議場には700名を超える参加者が集い、時宜を得た『時代の変化を意識した大学保健管理、ダイバーシティ（多様性）に注目して』をテーマに特別講演及びシンポジウムが行われた。ポスターディスカッションも110を超える発表がなされるなど充実した内容の研究集会となった。その概要は以下の通りである。

1) 特別講演

- ① 糖尿病と遺伝～なりやすい体質とは？～ 神戸大学理事・副学長 木戸 良明
- ② 新型コロナウイルス感染症をめぐる資料、記録の保全と記憶の継承のために 神戸大学理事・副学長 奥村 弘

2) 教育講演

- ① 大学における化学物質の自律的管理の進め方 東北大学 環境・安全推進センター、大学院医学系研究科産業医学分野 色川 俊也
- ② 継続は間違いなく力なり！ 京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻 クリティカルケア看護学分野 西山 知佳
- ③ ダイバシティ+インクルージョン=平等？ ～だれもが尊重される社会を目指して～ 神戸大学 インクルーシブキャンパス&ヘルスケアセンタージェンダー平等推進部門 ALEXANDER Ronni
- ④ 多様な当事者のニーズについて考える～ある障害当事者の経験から～ 神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 稲原 美苗
- ⑤ アカデミックハラスメントとSOGIハラスメント 追手門学院大学 法学部 三成 美保

3) 文部科学省講演

学生支援を巡る状況について 文部科学省 高等教育局学生支援課長 桐生 崇

4) シンポジウム

- ① 震災時の健康管理
 - ・ 阪神・淡路大震災に事寄せて一心のケアのあとさきー 大阪人間科学大学 人間科学部医療福祉学科 岩井 圭司

- ・ 能登半島地震における金沢大学のこころのケア
金沢大学保健管理センター 吉川 弘明
- ・ 熊本地震復興期のメンタルヘルス課題
医療法人信愛会玉名病院、熊本こころのケアセンター 矢田部 裕介
- ・ 東日本大震災で得られた教訓から災害後のメンタルヘルス対策を考える
東北大学災害科学国際研究所 災害精神医学分野 國井 泰人
- ② 「糖尿病とスティグマ」、糖尿病とともに、健康に、自分らしく生きる社会
 - ・ ダイアベティス（糖尿病）スティグマとアドボカシー
～私たちから変わろう～ 枚方公済病院 内分泌代謝内科 田中 永昭
 - ・ 糖尿病治療の進歩～進歩する糖尿病先進デバイス～
神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門 廣田 勇士
 - ・ 糖尿病を持つ方が抱えるスティグマ問題と対応への期待
～医療者兼患者の立場から～ 神戸大学医学部附属病院 看護部 大江 裕子
 - ・ 大学保健における（合理的）配慮
－学生相談員の立場から病を抱える学生・職員の支援
神戸親和大学大学院 文学研究科心理臨床学専攻 吉田 圭吾
- ③ 学生シンポジウム
学生参加で実現するヘルシーキャンパス
 - ・ 学生団体Vcanの取り組み～当事者目線で伝えるHPVワクチン啓発～
長崎大学 医学部医学科、若者にHPVワクチンについて広く発信する会Vcan 湧川 立規
 - ・ 立命館生協（学生委員会）の大学保健センターと連携・協力した
「食」の取り組み 立命館大学生協学生委員会 共済局・局長 牧野 涼葉
 - ・ 大学生発 ヘルスケアのイノベーション/WAKAZOの取り組み
WAKAZO代表、大阪医科薬科大学医学部 成 仁脩
 - ・ 大学生が銭湯を中心に考える人々の健康づくり
京都大学銭湯サークル 竹林 昂大・丸山 和葉
 - ・ 学生消防団が参画する和歌山の地域防災と保健活動の取り組み
～近畿大学生物理工学部～ 近畿大学 生物理工学部生物工学科 神谷 祐太郎
 - ・ 大学生のセルフ・ヘルス・アッププロジェクト（近畿大学ACTプロジェクト）
活動報告 近畿大学 理工学部 新谷 博正・松田 莉奈
- 5) ランチョンセミナー
 - ① 子宮頸がん予防のため「今」できることは何か
岡山大学 保健管理センター 樋口 千草
 - ② ドミトリー（Dormitory）と感染症対策～ワクチン接種のお勧め
川崎医科大学小児科学 中野 貴司
- 6) 一般研究発表
「健康診断」 「健康調査」 「感染症対策」 「学生相談」
「メンタルヘルス」 「健康教育／ヘルシーキャンパス（健康増進活動）」
「留学生支援・ダイバーシティ」 「産業保健・安全衛生」
「フィジカルヘルス」 「その他」
をテーマに113の演題が発表された。

(2) 地方部会研究集会開催事業

当協会では、北海道・東北・関東甲信越・東海北陸・近畿・中国四国及び九州の各地域に地方部会を設け、当該地域の大学等の保健管理施設に勤務する実務担当者等の知的交流及び研究活動の活性化を図り、大学の保健管理の充実に努めている。

実務担当者等が、日頃、取り組んでいる保健管理の課題等を持ち寄り、その成果を発表・討論する研究集会を開催するほか、地域の特性に応じたテーマについても職種ごとの研究会・研修会を開催し、大学に於ける保健管理に関する知識の啓発や技術の向上ならびに研究の推進等に取り組んでいる。

アフターコロナとなり、令和4年度・5年度から、各地方部会も、研究集会や職種毎の研究会・研修会を リモートから対面での開催に切り替え始め、令和6年度には多くの地方部会で、対面に戻しての開催となった。

1) 北海道地方部会

地方部会研究集会 令和6年8月30日／参加実績：26校66名

当番大学：国立大学法人 北海道国立大学機構 北見工業大学

①-1 講演Ⅰ「災害時の大学、食事、学生ボランティア」

講師：お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系（生活科学部 食物栄養学科）

教授 須藤 紀子

座長：日本赤十字看護大学 看護学部 教授 根本 昌宏

①-2 講演Ⅱ「食品と微生物」

講師：北海道立衛生研究所 感染症センター 感染症部細菌グループ

主査（食品細菌）大野 祐太

座長：小樽商科大学 保健管理センター長・教授 高橋 恭子

② 特別企画

講演1：「大学生の食事：実態と課題」

講師：熊本市都市政策研究所 研究員・熊本県立大学 非常勤講師 本田 藍

講演2：「大学生の朝食と100円朝食の試み」

講師：立命館生活協同組合 常務理事 佐藤 由紀

講演3：「大学生の昼食とミールシステム」

講師：北海道教育大学生活協同組合 専務理事 古屋 歩

講演4：「大学生の夕食と半額シール」

講師：元山梨県教育委員長・スーパー経営コンサルタント 小林 久

司会：北見工業大学 保健管理センター長・教授 奥村 貴史

③ 研究発表

演題1：大学生に対する効果的な薬物乱用防止教育の検討

－学生が期待する教育とは－

発表：小樽商科大学 保健管理センター長・教授 高橋 恭子

演題2：大学における心停止発生状況調査報告

発表：北海道教育大学 保健管理センター長・教授 羽賀 将衛

座長：帯広畜産大学 保健管理センター長・教授 川畑 秀伸

2) 東北地方部会

地方部会研究集会 令和6年7月11～12日／参加実績：27校74名

当番大学：国立大学法人 岩手大学

①-1 特別講演Ⅰ「ネコのマタタビ反応 この不思議な生物現象に魅せられて」

講師：岩手大学 農学部 教授 宮崎 雅雄

座長：岩手県立大学健康サポートセンター長 高橋 和真

②-1 教育講演Ⅰ「東日本大震災津波災害に伴う健康影響

：大規模コホート研究の結果から」

講師：岩手医科大学総合基礎講座衛生学公衆衛生学講座 教授

：いわて東北メディカル・メガバンク機構 副機構長 丹野 高三

座長：岩手大学 保健管理センター長 小野田 敏行

③ 一般研究発表

演題1：「課外活動における新型コロナウイルス感染症発生時の対応について」

岩手県立大学健康サポートセンター

佐藤 むつみ, 多田 まみ子, 藤原 美希, 高橋 和真

演題2：「発熱, 倦怠感を訴える学生の一例」

秋田大学保健管理センター

佐野 正明, 安保 智秋, 荻原 佐智代, 藤原 友紀子, 伏見 雅人

演題3：「2024年前期におけるキャンパス, 学年間の学生の精神的健康度の比較

ー山形大学においてー」

山形大学保健管理センター

鴨志田 冴子, 早坂 真貴子, 中村 志寿佳, 多勢 千洋, 中澤 未美子

伊藤 ななみ, 牧野 直彦

演題4：「心の健康教育の取り組み～mental well-being を目指して」

弘前大学保健管理センター

高橋 恵子, 田名場 美雪, 工藤 誓子, 嘉山 恵子, 佐藤 研

演題5：「敷地内禁煙継続中に起きたトラブル」

岩手大学保健管理センター

小野田 敏行, 野田 賢, 平賀 舞, 阿部 智子, 茅平 鈴子, 長沼 敦子

演題6：「新聞報道からみた大学における近年の大麻事件」

東北大学保健管理センター 北 浩樹, 伊藤 千裕, 木内 喜孝

①-2 特別講演Ⅱ「大学生の健康診断における最近の話題」

講師：東北大学保健管理センター長 木内 喜孝

座長：秋田大学 保健管理センター所長 伏見 雅人

②-2 教育講演Ⅱ「不登校経験者の生きづらさと支援の可能性」

講師：岩手大学 人文社会科学部 准教授 樋口 くみ子

座長：福島大学 保健管理センター所長 片山 規央

3) 関東甲信越地方部会

地方部会研究集会 令和6年9月5～6日／参加実績：79校322名

当番大学：国立大学法人 東京農工大学

● 部会長講演「生きがいに繋げる」

演者：千葉 一裕（東京農工大学 学長）

座長：香取 浩子（東京農工大学 保健管理センター所長）

● 特別講演1「馬と人との関係～人から馬へ、馬から人へ」

演者：田中 あかね（東京農工大学 農学研究院 教授）

座長：原田 賢治（東京農工大学 保健管理センター 教授）

● シンポジウム1「ジェンダーと大学生生活」

演者：村田 晶子（早稲田大学 文学学術院 教授）

天竺桂 弘子（東京農工大学 副学長 [入試及びダイバーシティ担当] /
農学研究院 教授）

吉野 知子（東京農工大学大学院 工学研究院 生命機能科学部門 /
工学府生命工学専攻 教授 / 女性未来育成機構 機構長）

座長：田中 あかね（東京農工大学 農学研究院 教授）

奥山 純子（東京農工大学 保健管理センター 准教授）

● 教育講演1「標準化された健診・診療データの共有化と活用」

演者：大江 和彦（東京大学大学院 医学系研究科 医療情報学分野 教授）

座長：柳元 伸太郎（東京大学 保健・健康推進本部 教授）

● 教育講演2「生理信号、特に脳波の計測、処理およびAI技術の利活用」

演者：田中 聡久（東京農工大学大学院 工学研究院 教授）

座長：馬淵 麻由子（東京農工大学 保健管理センター 准教授）

● 教育講演3「セーフティIIのすすめ～『失敗を防ぐ』から『うまく行くことを 確かなものにする』へ～」

演者：芳賀 繁（株式会社社会安全研究所技術顧問 / 立教大学 名誉教授）

座長：丸谷 俊之（お茶の水女子大学 保健管理センター 所長・教授）

● 教育講演4「動物の精神科の話す『猫』について」

演者：入交 眞巳（東京農工大学 ディープテック産業開発機構

フロンティア研究環 伴侶動物診療拠点 特任准教授）

座長：江上 奈美子（東京農工大学 保健管理センター 講師）

● 特別講演2「大学における教育・研究や国際交流と健康管理について」

演者：吉田 誠（東京農工大学 副学長 [国際交流担当]）

座長：原田 賢治（東京農工大学 保健管理センター 教授）

● シンポジウム2「さまざまな疾患と学生生活」

「摂食障害（摂食症）と学生生活」

演者：大森 美湖（東京学芸大学 保健管理センター 准教授）

「糖尿病とともにある人のスティグマとアドボカシー」

演者：高野 幹子（海老名市教育委員会 教育支援課 看護師）
座長：守屋 達美（北里大学 保健管理センター 所長・教授）
布施 泰子（茨城大学 保健管理センター 所長・教授）

● 看護師・保健師班等の専門部会活動

看護研修動画とマニュアルの紹介

演者：吉田 智子（千葉大学 総合安全衛生管理機構）
砂川 昌子（東京女子大学 保健室）
原田 賢治（東京農工大学 保健管理センター）
司会：森 正明（慶應義塾大学 保健管理センター 教授）

保健・看護師分科会 講演会「多様な学生への支援」

1) 「障害がある学生への支援」

演者：三枝 里江（山梨大学 教育統括機構 学生サポートセンター）

2) 「AYA 世代のがんを経験している学生への支援」

演者：渡邊 知映（昭和大学 保健医療学部 教授）

3) 「LGBTQ + 学生への支援」

演者：古堂 達也（一般社団法人 にじーず）

司会：広瀬 寛（慶應義塾大学 保健管理センター 教授）

澁谷 麻由美（慶應義塾大学 保健管理センター）

4) 東海北陸地方部会

地方部会研究集会 令和6年7月25～26日／参加実績：34校86名

当番大学：愛知教育大学

第1日目 パネルディスカッション

(1) パネルディスカッション1

テーマ「エビデンスに向けた取り組み」

座長：愛知教育大学 健康支援センター長・教授 田中 優司

パネリスト「大学の健康診断の標準化について」

静岡大学 保健センター所長・教授 山本 裕之

パネリスト「エビデンスの発信」

愛知学院大学 健康科学部教授、保健センター所長 大澤 功

パネリスト「能登半島地震における金沢大学の取組」

金沢大学 保健管理センター長・教授 吉川 弘明

(2) パネルディスカッション2

テーマ「メンタルヘルスの課題」

座長：愛知教育大学 健康支援センター教授 田中 生雅

パネリスト「発達障害のある学生の良き理解者となるために」

名古屋工業大学 保健センター長 石塚 佳奈子

パネリスト「大学生世代のLGBTQへの対応」

岐阜大学 保健管理センター教授 深尾 琢

パネリスト「異文化の学校生活と健康－大学学術交流協定校訪問で感じたこと」

愛知教育大学 健康支援センター教授 田中 生雅

第2日目

1. 開会式

開会の辞 愛知教育大学 学生支援課長 鬼頭 宏昭

挨拶 愛知教育大学 学長 野田 敦敬

2. 特別講演Ⅰ

座長：愛知教育大学 健康支援センター長・教授 田中 優司

演題：「愛知教育大学の未来共創プラン」

講師：愛知教育大学 学長 町田 敦敬

3. 保健管理担当職研究集会報告

司会：愛知教育大学 健康支援センター長・教授 田中 優司

総括：保健管理担当職研究会 総務 荒武 幸代

4. 特別講演Ⅱ

座長：愛知教育大学 健康支援センター教授 田中 生雅

演題：「大学生世代の親子関係」

講師：愛知教育大学 心理講座 教授 高橋 靖子

5. 地方部会総会

6. 閉会式

挨拶 愛知教育大学 健康支援センター長・教授 田中 優司

閉会の辞 愛知教育大学 学生支援課長 鬼頭 宏昭

5) 近畿地方部会

地方部会研究集会 令和6年8月30日／参加実績：約100名

当番大学：国立大学法人兵庫教育大学

● 開会挨拶：代表世話人校 国立大学法人兵庫教育大学 学長 加治佐 哲也

● 講演 1

座長：兵庫教育大学 保健管理センター 所長 宇治 雅代

演者：一般社団法人 日本健康倶楽部和田山診療所 診療所長 山口 宏茂

演題：「ちょっと変わった健康診断の見方・考え方」

○ 理事・監事・評議員懇談会

○ 保健師・看護師班懇談会

○ 保健師・看護師班総会

● 総会

● 講演 2

座長：兵庫教育大学 保健管理センター 所長 宇治 雅代

演者：兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 岡村 章司

演題：「自閉スペクトラム症児者への相談支援ー語り合うための留意点ー」

● 講演 3

座長：兵庫教育大学 保健管理センター 所長 宇治 雅代

演者：兵庫教育大学 大学院学校教育研究科 教授 小川 修史

演題：「次世代のユニバーサルデザインについて、一緒に考えてみませんか？」

● 総括・閉会挨拶

6) 中国四国地方部会

地方部会研究集会 令和6年8月22～23日／参加実績：34校86名

当番大学：国立大学法人 鳥取大学

① 特別講演「鳥取大学における菌類きのこ研究とわたし」

講師：中島 廣光（鳥取大学長）

②-1 教育講演1「めまいに対する新規前庭リハビリテーション法の検討」

講師：松尾 聡（鳥取大学 医学部 生理学講座 適応生理学分野 教授）

②-2 教育講演2「多様化する社会でのストレス対策：未来を担う若者のために」

講師：岩田 正明（鳥取大学 医学部 脳神経医科学講座 精神行動医学分野 教授）

②-3 教育講演3「今知っておきたいHPVワクチンのキャッチアップ接種」

講師：千酌 潤（鳥取大学 保健管理センター 学校医（婦人科））

③-1 一般研究発表Ⅰ

【健康管理①（学生）】

座長：岡山大学保健管理センター長 岩崎 良章

- ・大学生を対象とした「便活」開始について 広島大学 保健管理センター 日山 亨
- ・大学院生の喫煙と生活習慣 鳥取大学 保健管理センター 三島 香津子
- ・大学生を対象とした心血管疾患啓発活動
～広島県脳卒中・心臓病等総合支援センターとの連携～
広島大学 保健管理センター 宮内 俊介

【健康管理②（教職員）】

座長：香川大学 保健管理センター所長 鎌野 寛

- ・COVID-19パンデミックの生活習慣病への影響の検討
-2019年度・2023年度山口大学教職員定期健康診断結果から-
山口大学教育・学生支援機構健康科学センター 福江 宣子
- ・職員定期健康診断におけるオプション検査としての
Mac-2結合蛋白糖鎖修飾異性体の検討 岡山大学 保健管理センター 岩崎 良章

③-2 一般研究発表Ⅱ

【学生健康診断】

座長：山口大学 教育・学生支援機構健康科学センター長 山本 直樹

- ・IoT ICカードリーダーを利用した健康診断管理システムの導入
徳島大学 キャンパスライフ健康支援センター 武田 早苗
- ・鳥取地区学生の二次健診実施の状況と課題 鳥取大学 保健管理センター 浜本 扇代
- ・学生健康診断における尿検査の実施方法と検体提出率の検討
岡山大学 保健管理センター 影山 真希

【メンタルヘルス・危機管理①】

座長：広島大学 保健管理センター長 岡本 百合

- ・入学時UPI・K6高得点者のその後の学生相談利用状況
香川大学 保健管理センター 大塚 美菜子
- ・新生からのメンタルヘルス支援
徳島大学 キャンパスライフ健康支援センター 井崎 ゆみ子
- ・島根大学における性暴力への対応 島根大学 松江保健管理センター 河野 美江

【メンタルヘルス・危機管理②】

- 座長：徳島大学 キャンパスライフ健康支援センター長 井崎 ゆみ子
- ・教職員対象健康イベント開催報告 島根大学 松江保健管理センター 小林 沙世
 - ・大学病院におけるメンタルヘルス相談の特徴について
岡山大学 保健管理センター 大西 勝

④ 話題提供

- ・鳥取大学学生への『HPVワクチンに関するアンケート』結果
鳥取大学 保健管理センター所長 三島 香津子

③-3 一般研究発表Ⅲ

【健康管理③（女性）】

- 座長：島根大学 松江保健管理センター長 河野 美江
- ・生活習慣と月経トラブルの関連性 愛媛大学 総合健康センター 大岩 美景
 - ・岡山大学でのHPVワクチン接種後副反応調査について
岡山大学 保健管理センター 樋口 千草

7) 九州地方部会

地方部会研究集会 令和6年7月8～26日／参加実績：39校108名
当番大学：国立大学法人 佐賀大学

- ① 学長講演「佐賀大学の未来（これから）について」 児玉 浩明（佐賀大学 学長）
座長：木道 圭子（佐賀大学 保健管理センター長）
- ② 特別講演「天然痘との闘いー九州の種痘」 青木 歳幸（佐賀大学 名誉教授
佐賀大学 地域学歴史文化研究センター 特任教授）
座長：木道 圭子（佐賀大学 保健管理センター長）
- ③ 合同セミナー
 - ・教育講演Ⅰ「青年期の高血圧」 野出 孝一（佐賀大学 医学部長）
 - ・教育講演Ⅱ「地域の肝疾患対策～大学から出来ること」
高橋 宏和（佐賀大学 肝疾患センター長 特任教授）座長：坂本 佳子（佐賀大学 保健管理センター 講師）
コーディネーター：武富 弥栄子（佐賀大学 保健管理センター 看護師）
- ④ 合同シンポジウム
テーマ「配慮や慎重な対応が求められる学生・教職員の支援について」
 - ・講演Ⅰ「ニューロダイバーシティからみる大学における学生支援」
中島 俊思（ウェルビーイング創造センター 学修支援部門 准教授）
 - ・講演Ⅱ「発達障害の理解と支援」 松尾 宗明（小児科 教授）
 - ・講演Ⅲ「大学生のためのアルコールの基礎知識～上手な付き合い方～」
福田 貴博（あきやま病院）座長：荒木 薫（佐賀大学 保健管理センター 准教授）
コーディネーター：小川 康子（佐賀大学 保健管理センター 保健師）
コーディネーター：嘉松 美穂（佐賀大学 保健管理センター 保健師）

⑤-1 一般演題Ⅰ

- I-1 「医学部学生へ臨床実習開始時に配布している
「各種感染症確認カード」の活用についての実態調査」
木戸 芳香（大分大学 保健管理センター 挟間健康相談室）
- I-2 「新型コロナウイルス感染症に関連する体調不良を呈する学生への対応」
貫名 英之（福岡教育大学 保健管理センター）
- I-3 「大学における子宮頸がん予防の教育・啓発活動の取り組み
HPVワクチン接種の勧奨を中心に」
福盛 文恵（九州工業大学 学生支援本部 学生支援課 学生健康支援係）
- I-4 「大学キャンパス内でのHPVワクチン接種と子宮頸がん検診の取り組み」
楠元 和美（宮崎大学 安全衛生保健センター）
- 座長：貫名 英之（福岡教育大学 保健管理センター）
コーディネーター：河野 香奈江（大分大学 保健管理センター 保健師）
コーディネーター：中村 聡子（鹿児島大学 保健管理センター 保健師）

⑤-2 一般演題Ⅱ

- II-1 「テキストを用いた強迫症の心理教育」
大江 美佐里（久留米大学 保健管理センター）
- II-2 「長崎大学における学生メンタルヘルス健康診断の取り組み」
田口 友莉子（長崎大学 保健センター）
- II-3 「生活リズム手帳を用いた学生生活支援について」
長岡 舞子（熊本大学 保健センター）
- II-4 「医師働き方改革前後における大学病院医師のストレス状況調査」
木下 裕久（長崎大学 保健センター）
- II-5 「佐賀大学における学生相談の分析と今後の課題」
嘉松 美穂（佐賀大学 保健管理センター）
- 座長：武田 龍一郎（宮崎大学 安全衛生保健センター 教授）
コーディネーター：河野 香奈江（大分大学 保健管理センター 保健師）
コーディネーター：中村 聡子（鹿児島大学 保健管理センター 保健師）

令和6年度事業報告書

I. 事業の概要

2. 保健管理業務情報事業

(1) 機関誌発行事業

当協会では、機関誌として、全国大学保健管理研究集会の報告書ならびに大学に於ける健管理に関する調査研究活動の成果である研究論文集をそれぞれ年一回刊行している。

令和6年度も 第62回全国大学保健管理研究集会の報告書を「CAMPUS HEALTH(1)」として、また、機関誌編集委員会に於いて設定したテーマ「LGBTQ の正しい理解を深める」の特集記事および学術論文を掲載したものを「CAMPUS HEALTH(2)」として刊行し、当協会のホームページにも掲載した。

また、当協会の公益性に鑑みて、国立研究開発法人 科学技術振興機構（JST）が構築した「科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）」に於いて「CAMPUS HEALTH」の一般公開を順次行っている。

(2) 情報活用・交換事業

令和2年度から 文部科学省の要請を受け、当協会では「学生調査実施ワーキンググループ」を立ち上げ、一般社団法人国立大学保健管理施設協議会と共同で、学生の死亡実態調査を行っている。

令和6年12月には「令和5年度 大学における死亡学生実態調査」の報告書を 文部科学省に提出した。 文部科学省のウェブサイトには 令和2年度～令和5年度までの報告書が掲載されている。

従来から、感染症（例えば 風疹の流行）や、メンタルヘルス（例えば うつ病や自殺等）などの保健管理上の事案に対し、大学として時宜を得た施策が求められているが、個々の大学の保健管理施設だけでは十分な対応が難しい。そこで、当協会では、大学の保健管理に関する各種の情報や資料の収集を行い、それらを各大学に提供して、迅速かつ適切な対応が出来るような支援を行って着ている。

令和6年度も、大学の保健管理に関する最新情報や、基盤となる資料を 当協会の通信網を介して一斉配信、ウェブサイトに掲載するなど広く社会にも提供した。

令和2年度に行ったヘルシーキャンパス宣言を踏まえて、令和3年度に「ヘルシーキャンパス運営委員会」を立ち上げ、ヘルシーキャンパスの理解を深め、大学から社会へ、健康文化を広く発信していく取り組みを継続的に行っている。

令和6年度も、第13回となるヘルシーキャンパスフォーラムや 41の団体・大学が参加した「ウォーキングチャレンジ2024」のイベント等の開催を通じて、ヘルシーキャンパスの実現を図っている。

また、令和6年度は、10月に神戸で開催した 第62回全国大学保健管理研究集会の学生シンポジウムで「学生参加で実現するヘルシーキャンパス」をテーマに取上げ有益な意見交換を行うことが出来た。

「保健看護委員会」は、毎年度、大学の保健管理施設での勤務経験の無い看護職の為に、情報をアップデートして「看護職初任者講習会」の動画配信を行っている。

また、令和6年度の 12月には、大学保健管理者向けの参考文献が少ないとの問題

意識から「看護職のための大学保健業務マニュアルー学生健康支援のためにー」を作成し、ウェブサイトで公開した。

協会が行った大学のHPVキャッチアップ接種に関するアンケート結果は、令和6年11月にメディアに取り上げられ、学生の選択肢を拡げる情報提供の一つになった。

令和6年10月に「大学における心停止発生状況の調査」を行い 予防に繋げる目的で「大学における心停止発生状況調査のためのワーキンググループ」を立ち上げた。「倫理審査委員会」で承認し厚生労働省の「研究倫理審査委員会報告システム」に登録している。

当協会では、他にも「ウェブ情報委員会」や「国際連携委員会」等で、積極的な活動を行い、適宜、その内容を発信している。